平成 15 年 5 月 14 日

各　位

会社名　　株式会社 みずほフィナンシャルグループ
代表者名　　取締役社長　前田 晃伸
本店所在地　東京都千代田区丸の内一丁目６番１号
コード番号　８４１１（東証第一部、大証第一部）

みずほの「企業再生プロジェクト」について

当グループは、本日、再生・リストラニーズのあるお取引先の債権を銀行本体から新たに設立する再生専門子会社に分離すること等により、①「企業再生の早期実現」に加え ②「信用創造機能の一段の強化」を同時に推進する **みずほの「企業再生プロジェクト」**に取組むことを決議致しました。

昨今の厳しい経営環境に対処するため、当グループは、昨年度中に「変革・加速プログラム」「事業再構築」「財務上の課題の一掃」を発表し、グループ全体の競争力強化と企業価値向上を図る一方、再生専門部署の設置など体制面の準備を進めるとともに、引当強化など財務面でも最大限の対応を実施致しました。

当グループは、本プロジェクトを企業再生に向けた取組の集大成と位置付け、これまでの対応を一気に加速、３年間を目処とした企業再生の終結に総力を挙げて取組んでまいります。また、本プロジェクトにおいては、企業再生ノウハウ等の結集のために、日本政策投資銀行から出資および役員派遣を仰ぎ、また外資系金融機関等の出資・参画もいただきます。こうした企業再生に対する本格的取組は、「産業再生」と「金融再生」という二つの課題の解決に大きく寄与、延いては「日本経済の再生」にも貢献するものと考えております。

なお、本プロジェクトは、国内外当局による許認可等を前提にしております。

みずほの「企業再生プロジェクト」の要点

１．企業再生と信用創造への本格的取組み

- 企業再生の早期実現 ～Project Bank 機能の発揮～ …「３年間で終結」
- 信用創造機能の一段の強化 ～Prime Bank 機能の強化～

２．企業再生に特化した再生専門子会社の設立

- 取引先特性を踏まえた銀行別再生専門子会社の設立
- 本邦初の大規模かつ抜本的企業再生プロジェクト
  - ◇ 再生・リストラニーズのある取引先の債権を原則分離

３．最先端のノウハウを備えた再生アドバイザリー会社の設立

- グループ内外のノウハウを結集した企業再生スキームの提供
  - ◇ 日本政策投資銀行からの出資および役員派遣
  - ◇ 外資系金融機関等からの出資

４．設立予定日

- 再生専門子会社： 2003 年 5 月 23 日設立（7 月下旬営業開始）
- 再生アドバイザリー会社： 2003 年 6 月上旬設立

１．企業再生と信用創造への本格的取組　〔本プロジェクトのねらい〕

●企業再生の早期実現　～Project Bank 機能の発揮～

・・・「企業再生を３年間で終結」

- みずほ銀行（“MHBK”）、みずほコーポレート銀行（“MHCB”）、みずほ信託銀行（“MHTB”）（併せて“みずほ 3 行”）の取引先のうち、再生・リストラニーズのある先の債権を再生専門子会社に分離・集約するとともに、再生アドバイザリー会社を設立、迅速かつ的確に企業再生スキームを提供する体制（Project Bank 機能）を整備

  —— 産業再生機構、企業再生ファンド等との連携も一層強化

●信用創造機能の一段の強化　～Prime Bank 機能の強化～

- みずほ 3 行（銀行本体）は良質かつ安定的な資金の供給など資金仲介機能を中心とした銀行業務に特化

  —— 従来以上に資金仲介機能（Prime Bank 機能）を発揮し、取引先の資金ニーズに積極対応

  —— 高度化かつ多様化する顧客ニーズに対して一層スピーディーな対応を実現

２．企業再生に特化した再生専門子会社の設立

●取引先特性を踏まえた銀行別再生専門子会社の設立

- みずほコーポレート銀行の企業部をはじめ、みずほ 3 行において企業再生に取組んできた組織を再生専門子会社に移行させ人材を結集

- 銀行毎・属性毎に再生専門子会社 4 社を設立

  —— いずれもみずほ 3 行の 100％子会社

  - MHBK 子会社：㈱みずほプロジェクト
  - MHCB 子会社：㈱みずほコーポレートおよび㈱みずほグローバル
  - MHTB 子会社：㈱みずほアセット

  —— MHCB 債権は、①国内取引先向け、②海外取引先および本邦グローバル企業向けの二つの再生専門子会社に分別

●本邦初の大規模かつ抜本的企業再生スキーム

～再生・リストラニーズのある取引先に対する債権を原則分離～

- 国内取引先、海外取引先を含む約 1 千社の債権（貸出金および株式）合計約 4.6 兆円を分離する大規模な取組
  - —— 分離する債権は、再生・リストラニーズのある先全体の 3 分の 2 に相当
- 再生専門子会社は、再生アドバイザリー会社が提案する企業再生スキームについて個別に取引先と協議の上、その再生策を実行

３．最先端のノウハウを備えた再生アドバイザリー会社の設立

●グループ内外のノウハウを結集した企業再生スキームの提供

- 企業再生スキームを各再生専門会社に提供するため、「㈱みずほアドバイザリー」を設立

【出資】

—— みずほグループ：　60%

・ MHFG※、MHBK、MHCB、MHTB、MHSC※、MHIS※各 10%
（※MHFG：みずほﾌｨﾅﾝｼｬﾙｸﾞﾙｰﾌﾟ、MHSC：みずほ証券、MHIS：みずほｲﾝﾍﾞｽﾀｰｽﾞ証券）

—— 日本政策投資銀行：　10%

—— 外資系金融機関等：　30%（各社 6%）

・ サーベラス・グループ
・ ドイツ証券会社
・ メリルリンチ日本証券
・ モルガン・スタンレー証券会社
・ UBS コンソーシアム（UBS ウォーバーグ証券会社／ローン・スター・ファンド）

【役員】

—— 役員 5 名のうち、4 名はみずほグループ、1 名は日本政策投資銀行からの派遣

- みずほグループ内に分散していた人的資源・ノウハウを 1 ヶ所に集約するとともに、総合政策金融機関としてわが国の経済社会政策を金融面から支える日本政策投資銀行のノウハウを当社に結集
  - —— 国内外の幅広い投資家と海外案件で培ったスキーム構築力を有する外資系金融機関等のノウハウもあわせて活用

○ みずほグループ

・これまで実際に手がけてきた取引先の再建スキームや再建計画、モニタリング等に係る知識や経験

○ 日本政策投資銀行

・DIP ファイナンス、事業再生ファンドへの出資等の事業再生ビジネスにおける豊富な経験、内外の再生ファンドや関係機関等とのネットワーク

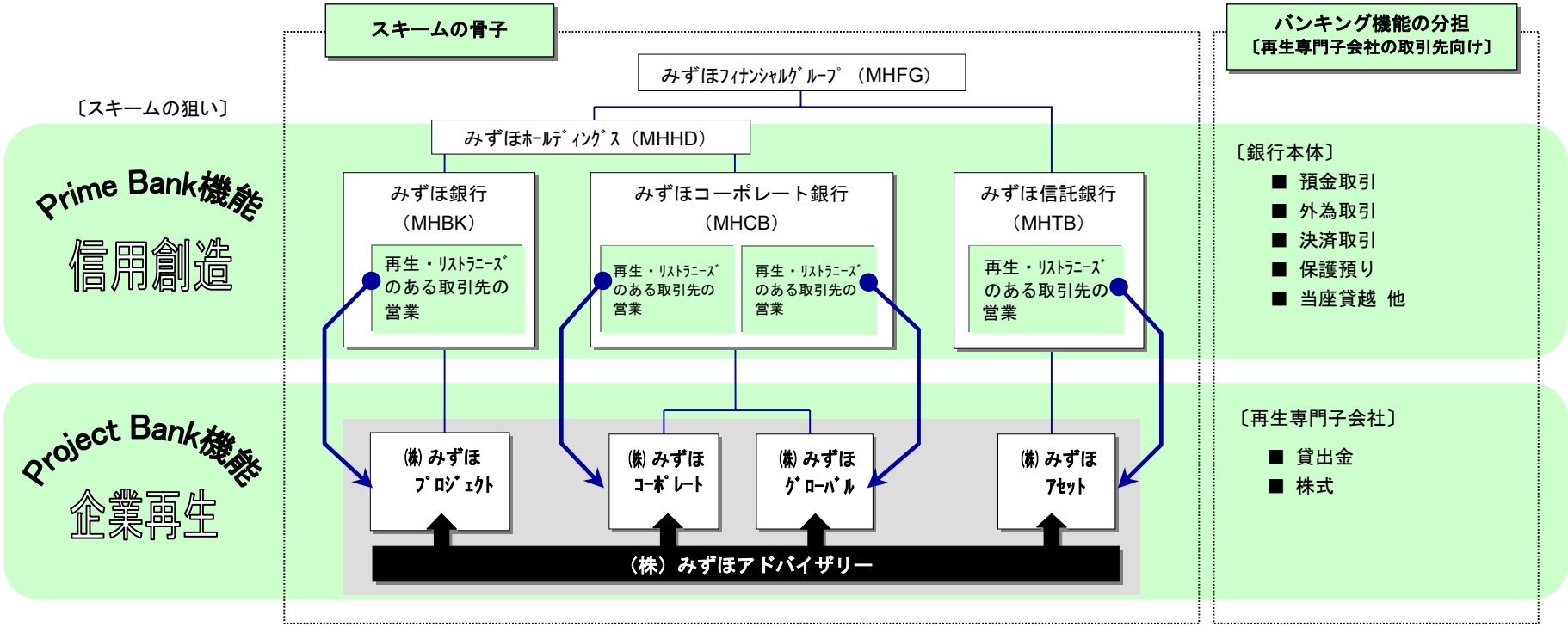
○ 外資系金融機関等

・リスクマネーを含む投資家ネットワーク、ターンアラウンドマネジャーなど再生の担い手としての経験、海外案件で培ったスキーム構築力

以上

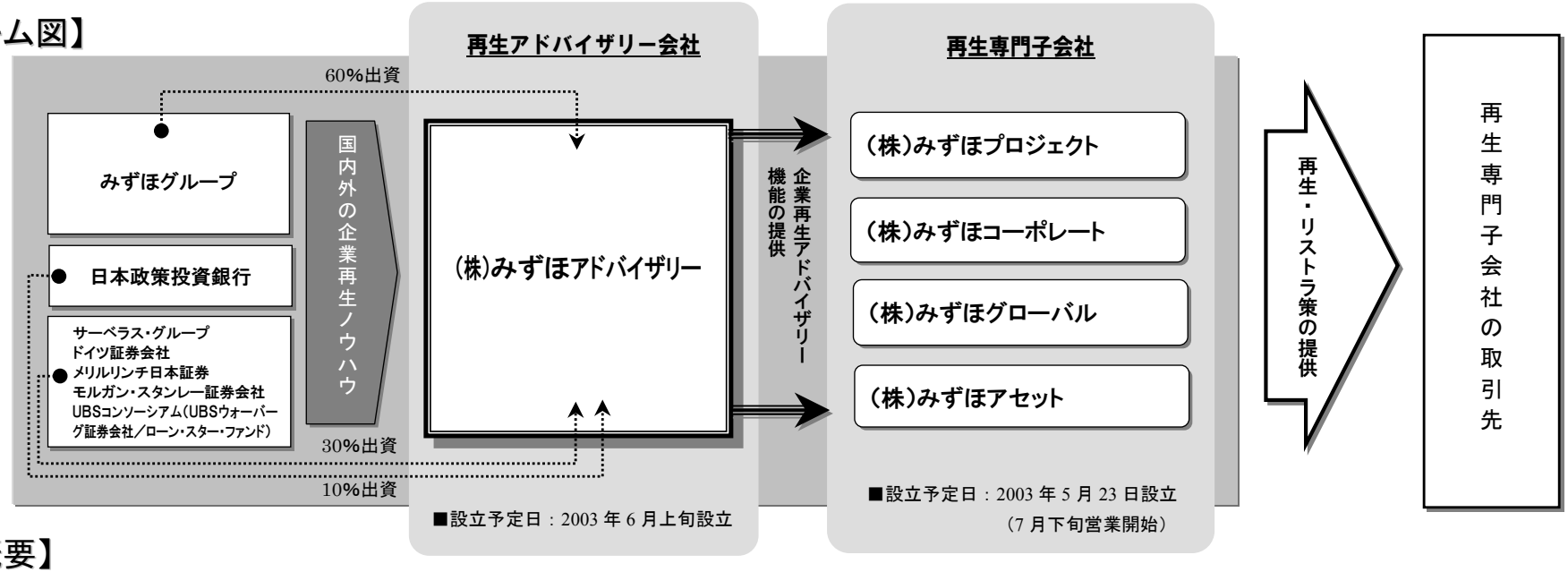
（別紙１）

【全体図】



	（株）みずほプロジェクト	（株）みずほコーポレート	（株）みずほグローバル	（株）みずほアセット	分離債権合計
再生専門子会社が銀行から承継する債権	再生・リストラニーズのある MHBK 取引先の債権（貸出金・株式）	再生・リストラニーズのある MHCB 取引先のうち、国内取引先の債権（貸出金・株式）	再生・リストラニーズのある MHCB 取引先のうち、海外取引先及び本邦グローバル企業の債権（貸出金・株式）	再生・リストラニーズのある MHTB 取引先の債権（貸出金・株式）	◆分離対象社数 **約１千社** ◆分離対象与信残高 **約４.６兆円**

【スキーム図】



【会社概要】

	MHBK の再生専門子会社	MHCB の再生専門子会社		MHTB の再生専門子会社
名称	(株) みずほプロジェクト	(株) みずほコーポレート	(株) みずほグローバル	(株) みずほアセット
本店所在地	本店 （東京都千代田区内幸町１丁目１番５号）	本店 （東京都中央区八重洲１丁目２番１６号）	本店 （東京都中央区八重洲１丁目２番１６号）	本店 （東京都中央区八重洲１丁目２番１号）
支店	大阪支店	大阪支店	大阪支店、ニューヨーク支店	大阪支店
資本金	5 億円	5 億円	5 億円	5 億円
代表者	取締役社長 小原 之夫	取締役社長 大内 俊昭	取締役社長 大内 俊昭	取締役社長 石川 博一
役員	取締役 3 名	取締役 3 名	取締役 3 名	取締役 3 名
従業員※	約 130 名	約 210 名	約 275 名	約 70 名
株主構成	MHBK 100%	MHCB 100%	MHCB 100%	MHTB 100%
業務内容	貸金業	貸金業	貸金業	貸金業

※従業員数は兼務者を含む（再生専門子会社の営業開始 7 月下旬時点）

	再生アドバイザリー会社
名称	(株) みずほアドバイザリー
本店所在地	東京都千代田区丸の内１丁目６番１号
資本金	1 億円
代表者	取締役社長 杉山 清次
役員	取締役 5 名（うち 1 名は日本政策投資銀行からの派遣）
従業員※	約 120 名
株主構成	みずほグループ 60% 日本政策投資銀行 10% サーベラス・ジャパン・インベストメンツ ツー ビーヴィ 6% ドイチェ・セキュリティーズ・リミテッド（ドイツ証券 東京支店） 6% メリルリンチ日本証券株式会社 6% モルガン・スタンレー・ジャパン・リミテッド 6% UBS コンソーシアム（UBS ウォーバーグ証券／ローン・スター・マネジメント・カンパニー・フォー・リミテッド） 6%
業務内容	コンサルティング業